



箸置きなどの数物を同じ形で作るための石膏抜型を制作します。型を保存しておけば、いつでも同じ形が作れます。

原型は目の細かい粘土で作る、型抜き勾配に仕上げます。固化前の石膏を含む水などは、下水管を詰まらせます。下水に流さず植え込みなどの肥料として捨ててください。



粘土で原型を作りファイルケースの上に置く。接地面を埋め型抜き勾配(注)にする。



囲いを作る。離型剤として石鹼水を原型に塗る。水をボールに張り石膏を振り入れる。



上水を切り泡立たせずに混ぜる。石膏を少し掛け、口で吹いて細部に行き渡らせる。石膏の水は下水に流さないように。





更に鑄込む。 容器の洗い水は下水に流さない。30分後囲いを取り面取りをする。

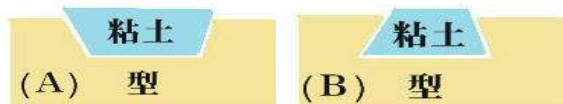


原形を外し細部を修整、型抜き勾配に。 片栗粉をはたき試し抜き。



粘土は型に強く押し込む。 試し抜き後細部修整。 型は濡れタオルで24時間養生。

※型抜勾配、粘土が抜けるような角度で、(B)では無く(A)のように。



※石膏は泡が入らないように混ぜる。

※型は固化のため水分を保ち24時間養生、その後よく乾燥させる。

※粘土に石膏を残さない。粘土再利用時、焼成後に素地が割れます。